

WHO ファクトシート

オンコセルカ症

Onchocerciasis

2017年9月

重要な事実

- ・一般に「河川盲目症」として知られているオンコセルカ症は、回旋糸状虫という寄生虫によって引き起こされる
- ・この疾病は、感染したシミリウス属のブユに繰り返し刺されることによりヒトに伝染する。
- ・症状には、激しい痛み、皮膚の変形や視力障害で恒久的な失明もありうる。
- ・感染者の99%以上はアフリカ31カ国に住んでいる。ラテンアメリカとイエメンにもいくつかの疾病出現箇所がある。
- ・イベルメクチンによるコミュニティ主導の治療が、アフリカでのオンコセルカ症根絶への基本戦略である。アメリカ諸国での戦略は、半年ごと大規模でのイベルメクチン投与である。
- ・2016年7月には、数十年にわたる根絶活動の成果により、グアテマラがコロンビア(2013年)、エクアドル(2014年)、メキシコ(2015年)に続きオンコセルカ症撲滅が確認された4番目の国となった。

本件ファクトシートについては厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)でも全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい

© World Health Organization

この文章は、日本WHO協会がWHOのメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月にWHO本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Onchocerciasis ファクトシート原文は[こちら](#)